



一緒に大きな声で謡いましょう。

200人の羽衣 200人の高砂

200人の羽衣

2016年 **12月24日** | 土 |
14:00 ~ 15:30

200人の高砂

2017年 **1月8日** | 日 |
14:00 ~ 15:30

●参加料 前売 3000円 当日 4000円 (高校生以下無料)

●主催・お問い合わせ 公益財団法人 **山本能楽堂**

(大阪市中央区徳井町1-3-6)

[TEL] 06-6943-9454

公演に先立ち、楽しいワークショップで、謡の練習をします。
経験者の方も、初心者の方も気軽に参加いただけます。
日本古来の発声法で、大きな声をお腹から出して、健康にも良く姿勢も良くなります。
「見るだけの能」が「参加する能」に！是非、ご参加ください。

200人の羽衣
2016年 12月24日 | 土 |
14:00 ~ 15:30

200人の高砂
2017年 1月8日 | 日 |
14:00 ~ 15:30

200人の羽衣 200人の高砂

◆プログラム◆

14:00 ~ 能のワークショップ

日本の伝統芸能「能」についてや「羽衣」「高砂」のお話で、理解を深めた後、謡の練習で、能独自の発声法を学びます。

14:20 ~ 囃子のワークショップ

能の楽器=囃子について学びます。

+ 一緒に大きな声で謡いましょう。 +

2016年
12月
24日
| 土 |

15:00 ~ 能「羽衣」

能「羽衣」

シテ(天女) 山本章弘
笛 齊藤 敦
小鼓 古田知英
大鼓 守家由訓
太鼓 中田弘美
後見 林本 大
地謡 山本麗晃
今村哲朗
吉井基晴

2017年
1月
8日
| 日 |

15:00 ~ 能「高砂」

能「高砂」

シテ(住吉明神) 山本章弘
笛 齊藤 敦
小鼓 荒木建作
大鼓 守家由訓
太鼓 中田弘美
後見 林本 大
地謡 今村哲朗
今村一夫
大西礼久

あらすじ

駿河国(静岡県)三保の松原に住む白龍という漁師が今日も釣りにやってきます。そしてのどかな浦の景色を眺めていると、いい匂いがしてきたので、あたりを見回すと、一本の松の枝に美しい衣が掛かっています。家の宝にでもしようとして持って帰りかけると、一人の女性が現れて呼び止め、それは自分のものだから返してほしいと頼みます。その女性が天人であり、その羽衣が天の羽衣である事を聞かされ、白龍は国の宝にするという返そうとしません。天人は羽衣がなければ天に帰れないと、空を仰いで嘆き悲しみます。その姿があまりに哀れなので、白龍は羽衣を返すかわりに天人の舞をみせて欲しいと頼みます。天人は喜んで承知し、羽衣も着て月世界における天人の生活の面白さや、三保の松原の春景色をたえた舞を舞いながら天へと上っていきます。

あらすじ

九州阿蘇宮の神官が播磨の国、高砂の浦にたどり着くと、浦には松が美しく生え、遠くの鐘の音も聞こえていました。そこに老夫婦が現れ、木陰を掃き清めます。老人は『古今和歌集』仮名序を引用して、高砂と住吉の松とは相生の松であり、離れていても夫婦であるとの伝説を説いて、松の永遠・夫婦の相老の仲睦まじさを述べます。命あるもの、いや自然の全ては和歌の道に心を寄せると言います。ここで老夫婦は、自分たちは高砂・住吉の松の精である事を明かし、小舟に乗り追い風をはらんで消えていきます。神官もまた満潮に乗って舟を出し、松の精を追って住吉に辿り着きます。すると住吉明神が出現して、美しい月光の下、囃奏と舞を舞って天下泰平・国土安泰を千秋万歳と壽くのでした。

【参加料】 前売 3000円 当日 4000円 (高校生以下無料)

【お申し込み】 (いずれかの方法でお申し込みください。)

山本能楽堂ホームページ <http://noh-theater.com>

TEL 06-6943-9454

【主催・お問い合わせ】

公益財団法人 山本能楽堂

(大阪市中央区徳井町1-3-6) [TEL] 06-6943-9454



【アクセス】 地下鉄谷町線「谷町4丁目」駅下車

4番出口より徒歩約2分